

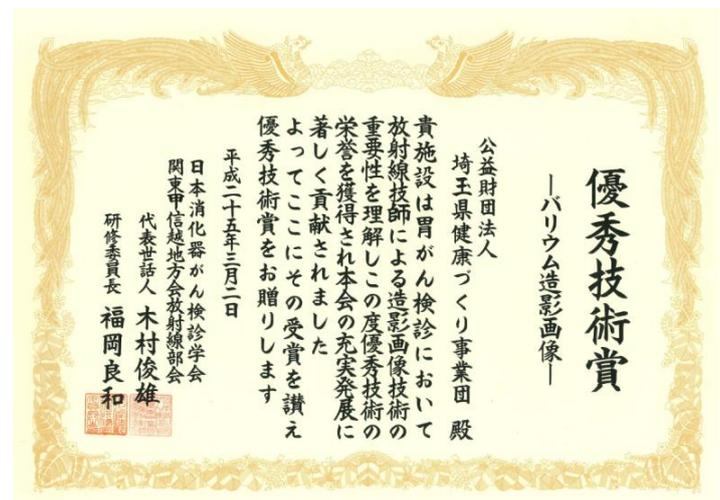
胃がん検診「優秀技術賞-バリウム造影画像-」受賞について

当事業団は、日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会第45回放射線部会学術集会にて、胃がん検診において早期発見を目的とした放射線技師による造影画像技術が優秀であるとして、「優秀技術賞-バリウム造影画像-」を受賞しました。

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会放射線部会では、国立がんセンター名誉院長である市川平三郎先生の肝煎りにより、1978年より胃X線撮影の知識、技術についての消化管造影技術研修会を開催し、2013年までに約8,000名が修了しています。

この研修会では、受講生が撮影した胃X線画像を講師陣が評価し、最優秀技術賞及び優秀技術賞を選定してまいりました。

2012年1月に開催された第34回消化管造影技術研修会において、当事業団の小笠原技師が撮影した胃X線画像が優秀技術賞に選ばれ、2013年3月2日に開催された日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会第45回放射線部会学術集会において表彰されました。



[受賞風景]